地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊。
市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特色を活かした産業の創出を図ります。

地域おこし協力隊の活動内容紹介
～河合町に住んでみて～

隊員　戸村（とむら）　元哉（もとや）

昨年の12月20日より河合町で地域おこし協力隊として活動している戸村元哉です。

ここ河合町に住み始めて半年が過ぎました。住み始めた頃は、たくさん降り積もる雪の量に圧倒され、そして雪解けとともに、春の花が一斉に咲きだし、7月になると少しずつ暑くなり、河合町の四季を満喫しております。秋にはどんな姿になるのか、今からとても楽しみです。

さて、この6カ月間河合町で体験した事を振り返ると、様々な出来事がありました。

・歌舞伎デビュー

3月11～12日の2日間にわたり、高山グリーンホテルで開催された地歌舞伎に出演しました。

今回の演目は「白浪五人男」で、その一部分を披露し、私は忠信利平役を演じました。

プロが演じる歌舞伎を「大歌舞伎（おおかぶき）」というのに対して、地元の素人役者によって演じられる地方に根付いた歌舞伎を「地歌舞伎（じかぶき）」と呼びます。

この地歌舞伎の素晴らしいところは、役者と客席との距離がとても近いという事、そしてプロの演劇では、一般の観客が掛け声をかける事はできないのですが、地歌舞伎では、掛け声をかける事が可能という事です。

歌舞伎は、いつもとは違う自分になれるので、皆様もぜひ一度ご出演してみてはいかがでしょうか？

・地区の例祭に参加

毎年5月3日に斎行される稲越冨士神社の例祭に鶏闘楽の一員として参加しました。

この神社で奉納される小雀獅子は、非常に激しく、交互に肩に乗るなど、乱舞する姿は本物の獣のようでした。「もし、この獅子舞を子どもの時に見ていたらトラウマになっていただろうな…」と思うくらいの迫力です。

やがて獅子の前に碁盤が持ち出されて、田に見立てた碁盤に興味を示した獅子は、軽やかにその上に乗り、五穀豊穣を願い舞い踊ります。

・田植えのお手伝い

手伝いをさせていただいたこの日はとても天気が良く、田んぼの水面が鏡のように空を映し出していました。慣れない手つき、そして泥水に足をすくわれながら、田んぼに苗を植えました。

私の地元である小牧では田植えをした事がなかった為、とても新鮮でした。

・ふるさと大運動会に参加

6月3日の河合小学校のふるさと大運動会は、町を挙げて行い、早朝4時台から地元の楽団ニューコメッツが町内を巡回演奏し開催を告げるところから始まります。河合町民が参加し、一つになり、作り上げられる運動会。「周りにこんな素敵な大人たちがいるから、子どもはいい子に育つのかな」そんな思いにふけりながら子ども達の雄志を見届けました。

・読み聞かせボランティアに参加

河合小学校での読み聞かせボランティアに参加しています。先日の読み聞かせを行った学年は3年生で、選んだ本は「ライオンとネズミ」というイソップ物語。登場人物によって声を変えて読み上げると、児童たちは「きゃはは」と笑い声を上げるので、私も気分が良くなり張り切って読みました。次回の読み聞かせが楽しみです。

・雪中酒の出荷作業に参加

この雪中酒は豪雪地帯である河合町ならではの特産品です。真冬に巨大な天然雪の雪室を作り、その中に冬にしか味わえない「しぼりたて生酒」を保管します。これを夏に取り出し、天然雪と共に全国各地にお届けするものです。夏に冷たい雪を見ながら、生酒で乾杯！お中元にいいかもしれませんね。

・情報発信

「飛騨市河合町地域おこし協力隊の活動記録」というＷＥＢサイトを立ち上げました。ブログも書いていますので随時河合町の情報をお伝えします。

多くの方々に助けられ河合での日々を満喫しています。これからも河合町の魅力を発見し、皆様にお伝えしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。